

いつの世も、
狂言はおもしろい。

600年という時間の中で磨かれた技は、
現代においても、たくさんの人々を楽しませていきます。



野村万作 新狂言の会

演目 狂言「鍋八撥 なべやっばち」

狂言「仁王 におう」

出演・野村万作 野村万之介 野村萬斎 石田幸雄 はか

2008年9月5日(金)

開場18:30 開演19:00

黒部市国際文化センター コラーレ

■野外能舞台/400席限定

一般 6,000円 高校生以下 2,000円

障害者手帳をお持ちの方 5,000円

- 当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入場いただけます。チケットはコラーレだけで発売いたします。
- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
- 5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。
- 雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。
- 雨天の場合は、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催：財団法人黒部市国際文化センター 共催：北日本新聞社 協賛：チューリップテレビ 後援：黒部市 黒部市教育委員会

コラーレ 富山県黒部市三日市20番地 TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 www.colare.jp 【開館時間】9:30~22:30(土曜~23:00) / 毎週水曜休館



闇に浮かび上がる能舞台、

水面に揺らめく二本のかがり火、

野村万作・萬齋親子が舞い謡う――。

一期一会の心

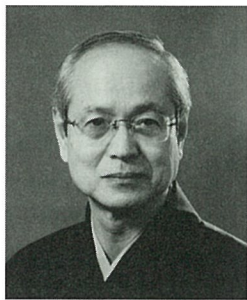
コラーレの野外能舞台は、中尊寺の舞台とともに、私の最も好きな場です。

外気を観客と一緒に大きく吸い込みながらの演
言、賑やかな狂言をと、観客と演者の交流をいつ
も考えながら選曲しております。

当日の天候が気になりますが、一期一会の心で
充実した舞台を心がけ、この企画が観客、主催者
とともに続けてゆかれることを念願しております。

野村万作

野村万作 (狂言師)



一九三二年生。重要無形文化財各個
指定保持者(人間国宝)。祖父・故初
世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵
に師事。早稲田大学文学部卒業。「万
作の会」主宰。狂言の秘曲である「釣
狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した
他、紀伊国屋演劇賞、日本芸術院賞、
紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞など、
多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言
普及に貢献し、ハワイ大、ワシント
ン大では客員教授を務める。古典は
もとより新しい試みにもしばしば取
り組み、代表作に「月に憑かれたピ
エロ」「子牛線の祀り」「秋江」「法線
侍」などがある。著書に「太郎冠者を
生きる」(白水社)、ロブックス、「狂言
三人三様・野村万作の巻」(岩波書店)
がある。

野村万之介 (狂言師)



一九三九年生。故六世野村万
蔵の五男。父に師事。重要無
形文化財総合指定者。五歳の
ときに「鉢叩」で初舞台。「万
之介狂言の会」主宰。狂言界
の代表的演者の一人。芸術選奨文部大臣新人賞受賞。亡父の
洒脱さを継承した芸には定評がある。「万作の会」の重要メン
バーとして、海外公演にもたびたび参加。また、東京大学、早
稲田大学の狂言サークルを指導して久しい。

野村萬齋 (狂言師)



一九六六年生。野村万作の長
男。祖父・故六世野村万蔵及
び父に師事。重要無形文化財
総合指定者。東京芸術大学音
楽学部卒業。「狂言でござる乃
座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の
主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九
四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、
芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊国屋演劇賞、朝日舞台芸
術賞等を受賞。著書に「萬齋でござる」「MANSAI」(舞台芸
術書「朝日新聞社」)、「狂言三人三様・野村萬齋の巻」(岩波書
店)等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。

石田幸雄 (狂言師)



一九四九年生。野村万作に師
事。重要無形文化財総合指定
者。「雙ノ会」主宰。すでに数
多くの優れた舞台歴を持つ野
村家の重要な演者。大曲の「三
番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。また新しい試みの舞台に
も意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評が
ある。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加。日本大学芸
術学部、学習院大学非常勤講師。「雙ノ会」で二〇〇六年度芸術
祭大賞を受賞した。

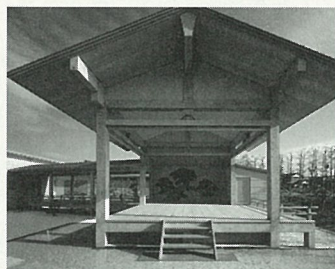
薪狂言 番組

解説 石田幸雄

火入れの儀

狂言 鍋八撥

なべやつばち



所の目代(代官)が、新しく市を立てるのに際し、一番最初の店につ
いた者をその市の代表と認め、免税するという高札を出します。それ
を見て一番乗りした羯鼓売りは、夜明けまでに間があるのひと寝入
りしていると、一足遅れて浅鍋売りがやってきます。先を越された浅
鍋売りは、一番乗りのふりをして羯鼓売りのそばで寝入ります。目を
覚ました羯鼓売りはびつくり仰天。二人は「自分こそが一番」と言い
争いになります。そこへ目代が仲裁に入りますが……。

さて、羯鼓売りと浅鍋売り、どちらに軍配が挙がるのでしょうか。
羯鼓売りの動きにもご注目下さい。

鍋売り 野村万作

羯鼓売り 月崎晴夫
目代 野村万之介

笛 吉野晴夫

後見 深田博治
高野和憲

狂言 仁王

におう

賭博で負けつづげの博奕打が、財産も尽きてしまったので友人に相
談します。友人は、仁王の格好に扮装して、仁王が天下つたと触れ回っ
て、信心深い人々から供え物を騙し取るうと提案します。早速仁王の
相をつくって待つていたところ、期待通り参詣人が次から次へとやっ
てきて、さまざま願ひ事をかけては供え物を置いていきます。味を
しめた博奕打が、そのまま次の参詣人を待つて……。

大勢の参詣人が舞台上で集い、中世の活気がそのまま味わえる楽し
い作品です。参詣人ひとりひとりの願ひ事と共に、そつと心の中でお
願ひ事をされてみてはいかがでしょう。

博奕打 野村萬齋

何某 石田幸雄
参詣人 深田博治
参詣人 月崎晴夫
参詣人 高野和憲
参詣人 岡聡史
男 野村万之介

後見 野村良作